

## 第 50 期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

広島市立大学 国際学部 4年 赤畑利奈

2024 年 7 月

### はじめに

Hola! 8 月 1 日に無事帰国しました！メキシコに到着直後は未知の世界で不安も大きかったですが、あたたかい友人たちと出会い支えてくださる方々のおかげで約 10 か月の研修期間を無事に終えることができました。

今回は研修期間最後の 1 か月、思い残すことのないよういろいろな場所を訪れたので皆さんに紹介します。

### Oaxaca (オアハカ)

メキシコシティからバスに乗って約 6 時間、やってきたのは Oaxaca (オアハカ)。市内歴史地区とモンテ・アルバン遺跡が世界遺産に指定されており、先住民族が多い地区として勇舞な場所でもあります。ここオアハカでは毎年 7 月に Gelaguetza (ゲラゲツァ) と呼ばれる伝統的なお祭りがほぼ 1 か月通して行われていて、ちょうどそのお祭りの時期に行くことができました。



←オアハカ市中心部にあるサントドミンゴ教会



市街地近郊にあるモンテ・アルバン遺跡 ↑

ゲラゲツァとはオアハカ州内の 16 の先住民コミュニティから来た各地域の代表が、伝統的な衣装を着て、ダンスや音楽を披露し、贈り物を交換することで、地域間の絆を深め、連帯感を強化するお祭りです。起源は、先住民族の古代の宗教儀式に遡ります。Zapotec (サポテカ) 族と Mixtec (ミステカ) 族を中心に行われていた農業と雨の神々への感謝祭が元になっています。特に、Zapotec の雨の神である Centeotl (センテオトル) = トウモロコシの女神に捧げられていました。スペインの植民地時代以降、カトリックの影響を受けて、キリスト教の聖人の祝祭と結びつくようになったようです。

このお祭り期間は毎日何かしらのイベントが行われているようで、私は幸運にも各民族の踊りを披露するパレードとステージを見ることができました。パレードでは街の中心部を踊り子たちが踊りながら練り歩きます。メキシコ伝統舞踊の衣装は比較的スカートの裾が広く、スカートの端を持ってひらひらと翻しながら踊るのが特徴的です。色とりどりの衣装を着て蝶のようにスカートを揺らしながら踊る踊り子たちを見ていると、観ている側も楽しくなってきます。パレードの最中には、見物客にそれぞれの町の特産品を投げ渡したり、地酒のメスカル酒を振舞ったりされるので大盛り上がりです。夜のステージのラストには花火が打ち上げられ、踊り子、観客関係なくみんながステージの周りに集まり踊っていたのが印象的でした。



町中どこもかしこも飾り付けられ大盛り上がり

### Guadalajara (グアダラハラ)

メキシコシティの北東にあるハリスコ州の州都、グアダラハラ。アメリカの国境付近にある都市モンテレイと並ぶメキシコ第二の都市です。今回はグアナファトを經由してバスに乗って向かいました。バスに乗っていると見えてくるのは、窓の向こういっぱい広がるリュウゼツラン農地。メキシコでは agave (アガベ) や maguey (マゲイ) と呼ばれている見た目はアロエを大きくしたような植物です。メキシコではよく見られる植物で民族によって呼び方はさまざまあります。日本でもアガベシロップなどが輸入品ショップで売られていますが、その原料となる植物がリュウゼツランになります。



右も左もマゲイだらけ  
メキシコ人にとって欠か  
せない飲み物

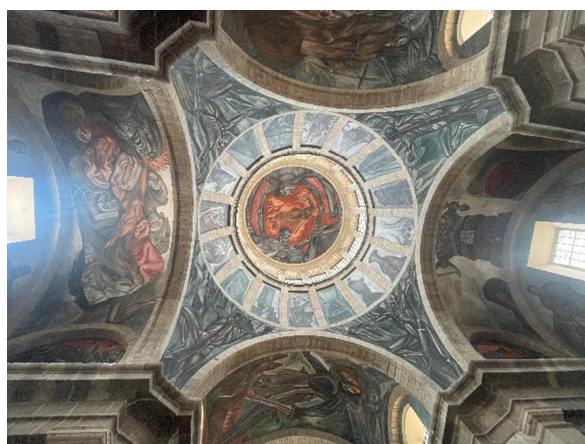


バスターミナルから中心部へ移動する時には地下鉄のきれいさに驚きました。第二の都市と呼ばれるだけあり、近代的なデザインと静かな車内にまるで日本にいるかのように感じました。私が乗ったのは3号線で比較的新しく開通した路線のため特にきれいだそうで、その近代的な駅から歴史地区へと出てきたときは新しさと古き良き景色が融合している感じに不思議な感覚を覚えました。

中心部には教会がいくつもあり、綺麗で神秘的な内装を見ることができます。また Museo cabañas (オスピシオ カバーニャス) ではディエゴ・リベラやダビッド・アルファロ・シケイロスとともにメキシコ壁画運動を行ったホセ・クレメンテ・オロスコの壁画を見ることができます。



↓メキシコ3大壁画画家のうちの一人  
ホセ・クレメンテ・オロスコの作品



グアダラハラのあるハリスコ州でおすすめの料理の一つが carne en su jugo (カルネ エンス フゴ) です。知人にお勧めされた有名なレストラン Karne Garibaldi へ行きました。この料理は細かく切った牛の薄切り肉とベーコン、お豆をじっくり煮込んだスープで、豆と牛肉の味がしっかり出ていて、とても美味しかったです！お好みで、刻んだ玉ねぎ、レモン、パクチー、辛いソースを加えて食べられます。ドリンクにはハリスコ州のみで売られているという Lechugilla (レチュギージャ)、もといアガベサイダー。味はほのかな甘みでラムネのようなさっぱりとしたジュースだったのでおいしかったです。



このレストランにはメインの料理は carne en su jugo しかなく、また提供の速さも有名です！  
水色の缶が Lechugilla です。

## メキシコのお酒

今回紹介したオアハカとグアダラハラに共通するキーワードがたびたび登場していたマゲイ（リュウゼツラン）です。日本では米を使ったお酒となりますが、メキシコではこのアガベを使ったお酒が主流です。プルケ、メスカル、そしてテキーラと種類があり、テキーラは度数の高いお酒として日本でも有名ですね。メスカルの産地として有名なのがオアハカ、テキーラの産地として有名なのはグアダラハラです。ではそれぞれのお酒を紹介していきます。

プルケとはマゲイの樹液を発酵させた飲み物になります。メキシコでは古くからマゲイは神聖なものとしており儀式などに使用されてきました。ゆえにマゲイのお酒の原点であるプルケの歴史は1000年前から飲まれていたといわれています。見た目は白濁していて、マッコリのような感じです。アルコール度は3%から5%。ほのかな甘みはありますが、独特な味をしているので好き嫌いが分かれるかもしれません。メキシコではベリー味などフルーツフレーバー付きのプルケも売られています。

プルケが醸造酒であるのに対し、メスカルは蒸留酒になります。植民地支配をしていたスペイン人から蒸留の方法が伝わり、メスカルが誕生しました。メスカルの作り方はアガベの中心にある「ピニャ」と呼ばれる球茎部を使い、蒸し焼きにします。その後蒸し焼きにしたものをすりつぶし、2回蒸留することでメスカルができます。35度から50度とアルコール度数が高いのも特徴です。

テキーラはメスカルの一種ですが、ハリスコ州政府の機関「CRT(Consejo Regulador del Tequila)」が厳重に管理しCRTの規則に合ったものがテキーラと呼ばれます。正確に言うと、「テキーラ」とはハリスコ州にあるグアダラハラ市近郊のテキーラ村とその周辺で製造されるものになります。同じリュウゼツランでもテキーラに使用されるのはアガベ・アスール・テキラーナ・ウェーバー（通称：ブルーアガベ）という種類で、認定機関の規則にはメキシコ国内の限られた地域で生育した「ブルーアガベ」を51%以上使用する、最終アルコール度は35%から55%の間であることなど、厳しい規定があります。



左がテキーラ、右がメスカル  
メスカルは左からピニャの繊維が入っているモノ、ノーマル、そしてアガベに寄生する虫（グサノ）が入ったもの  
このグサノ、メキシコでは昔から食用虫として食べられています。  
日本では飲む機会もあまりないメキシコのお酒。ぜひメキシコを訪れた際は挑戦してみてください！



### 最後に ~感謝とともに~

10月中旬から始まった日墨戦略グローバル・パートナーシップ研修計画も無事終わりを迎え、このレポートも最後となります。改めてメキシコの文化・歴史の奥深さを知るとともに、メキシコの人々の優しさに助けられた10か月でした。また日本文化紹介のイベントに参加することで、メキシコから見た日本を知る機会にもなり、充実した日々を送ることができたと強く感じています。今回学んだこと、得たことを今後の生活に活かしていくとともに、スペイン語の勉強を続け、広島とグアナフアト、日本とメキシコのつながりを支えられるような活動をしていきたいと考えています。

10回の報告書を読んでくださった皆様、ありがとうございました。少しでも皆さんがメキシコという国に興味を持って、行ってみたいと思ってくだされれば嬉しいです。

この研修を支えてくださった広島県国際課の皆様、広島市立大学の皆様、外務省および在メキシコ日本大使館の皆様、そして10か月一緒に過ごした日墨生、メキシコで出会ったすべての方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

またどこかでお会いしましょう。

Muchas gracias, ¡Adiós!



#### 7月のお気に入り写真 ~メキシコオリンピック博物館にて~

メキシコシティのとある場所、メキシコ（グアナフアト）と広島の縁を感じる場所を教えてもらいました。東京オリンピック開催を受け、メキシコ選手団の受け入れ地となった広島。お互いの交流の記念として壁画が描かれていました。真ん中には両国の選手たち。そして平和を象徴とする鳩と折り鶴。そして周りには原爆ドームや宮島の大鳥居、その隣にはメキシコの革命記念塔、チツェンイツァ遺跡などが描かれています。こんな壁画が作成されていたとは知らなかったのが驚きとともに、嬉しく感謝の気持ちがこみ上げてきました。